



84112-XNCD-K0S0 CIVIC HATCHBACK TAILGATE SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式、車両色と製品色の確認を行って下さい。

[適合車種] CIVIC HATCHBACK DBA-FK7
CIVIC TYPE R DBA-FK8

[色記号] 本製品は未塗装品です。車両色（ホンダ色記号）は、サービスインフォメーションプレートで確認して下さい。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

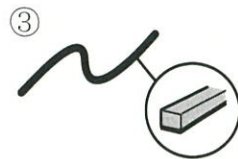
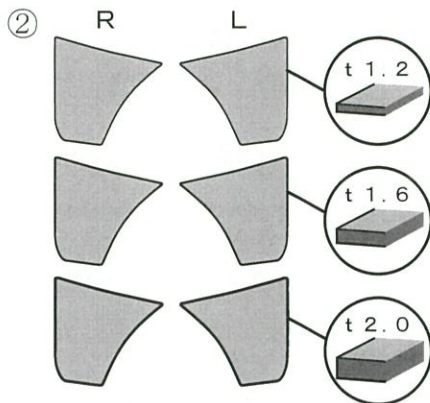
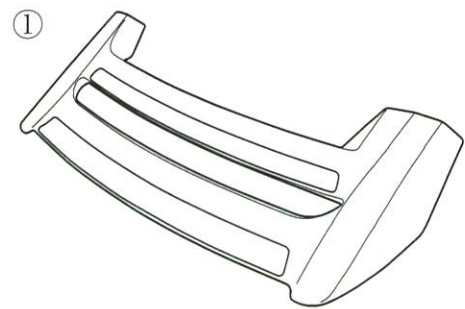
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. テールゲート スポイラーが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。テールゲート スポイラーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	テールゲート スポイラー	1
②	両面テープ R/L (t1.2、t1.6、t2.0)	各1
③	エプトシーラー	1
④	スペーサー	2
⑤	エンブレム	1



【必要工具】

- ・ソケットレンチ 10mm
- ・イソプロピルアルコール
- ・ウエス
- ・ハサミ
- ・カッター

FRPゲルコート仕上げ製品の特性及び塗装作業の注意事項

●FRPゲルコート仕上げ製品の特性

FRP製ゲルコート仕上げの商品は複雑な形状を製造するのに適したハンドメイドで製造した商品です。そのためPPE、ABS樹脂製塗装済み商品とは取扱いが異なります。

ハンドメイド製造品のため、車両、商品の個体差により、塗装前にフィッティング確認、取付穴などの修正及び、製品表面の面出しや製法上発生するキズなどの修正等の下地処理が必要となります。予めご了承下さい。

○塗装作業の注意事項

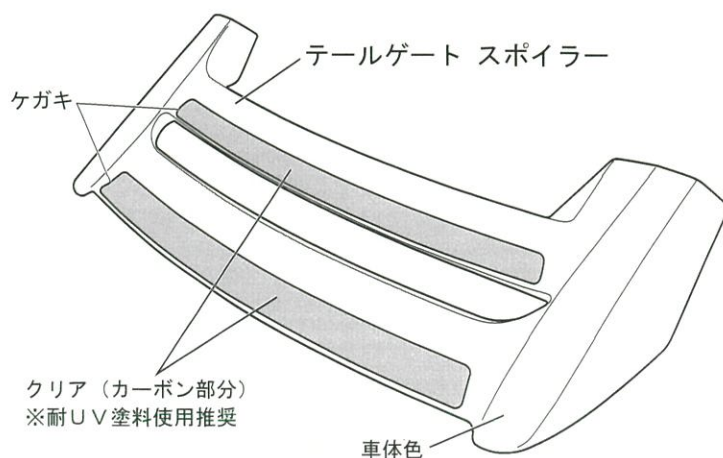
下記の点にご注意ください。

1. 塗装作業前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けができることを確認して下さい。取付穴および車体部品とのフィッティングの調整を行って下さい。車両個体・製品個体差等で修正が必要になる場合があります。
2. 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修、修正跡、ゲルコート表面の細かい凸凹があります。本塗装前に必ず下地処理を行って下さい。
3. ゲルコート仕上げ状態のままのご使用は出来ません。製品を良く確認の上、必ず全面にサーフェーサー（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、パテ（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、耐水ペーパーによる面出し作業、足付け作業などの下地処理を行った上で、本塗装を行って下さい。特に、割型面部はピンホールが発生し易いので、必要に応じてパテ修正・面出し等の下地処理を行って下さい。

*なお、FRPゲルコート製品はその製法上、ABS、PPE樹脂製塗装済み商品と同等の面品質が出ない場合があります。予めご了承下さい。

4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼き付け仕上げ温度の上限は50℃です。FRP製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

塗装の塗り分け ※ケガキで塗り分ける

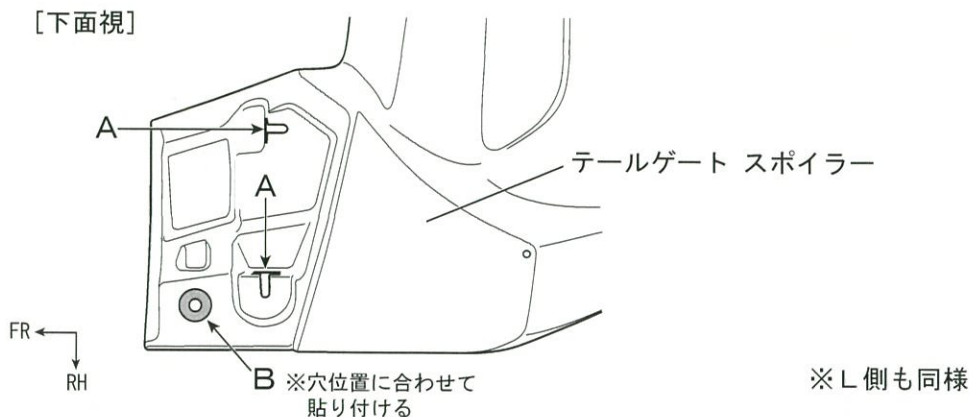
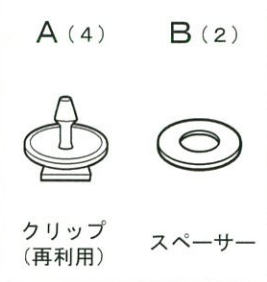


*注意
カーボン部分には製造工程上にて発生する小傷が残っている場合がありますが、そのままカーボン部へのサンディング及びクリア塗装を行っていただければ問題ございません。

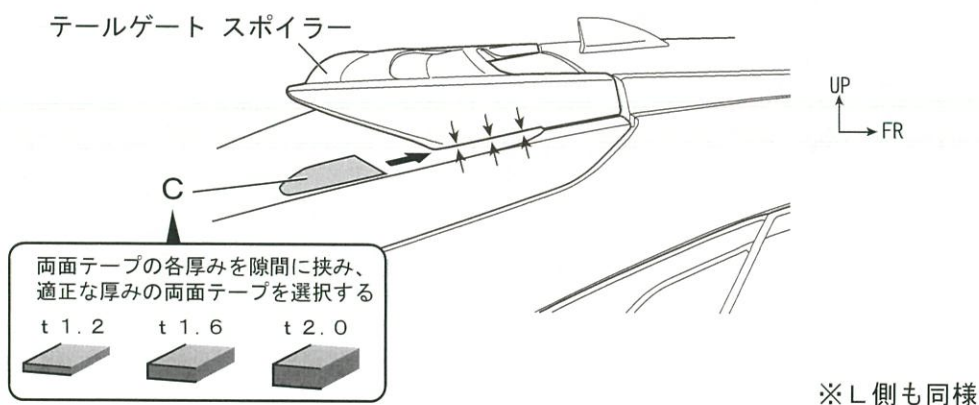
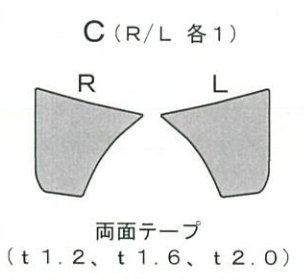
I. 取付準備

- 《注意》・テールゲート スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 ・作業は左右同様にを行うこと。

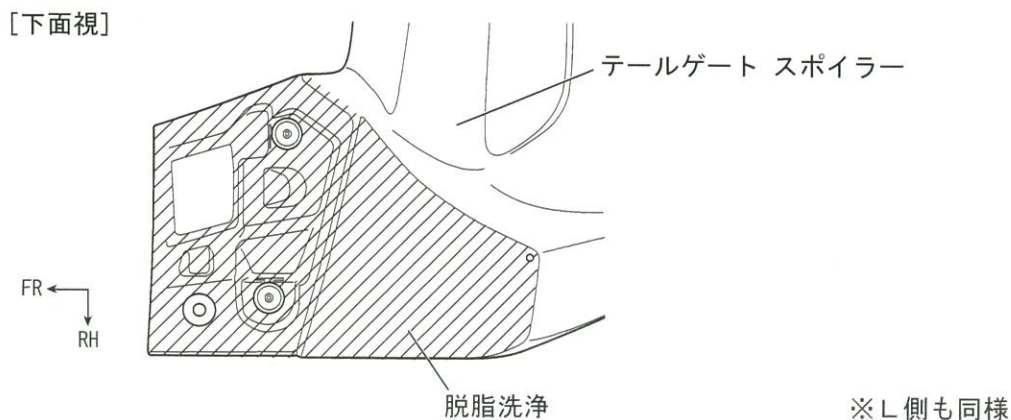
- ①車体から純正テールゲート スポイラーを取り外す。(サービスマニュアル参照)
 その際に取り外したボルト、クリップは再利用する為、紛失や破損に注意すること。
- ②純正テールゲート スポイラー脚部からクリップ (A 再利用) を取り外し、テールゲート スポイラーに取り付ける。
 また、下図穴位置に合わせてスペーサー (B) を貼り付ける。その際に貼り付け面を脱脂洗淨すること。



- ③テールゲート スポイラーを車体に仮あてしクリップ (A 再利用) を勘合させ、テールゲート スポイラー脚部と車体リアガラス面との隙間に両面テープ (C) を挟み、ガタつきの出ない両面テープを厚み3種類から選択する。
 選択後、テールゲート スポイラーを車体から取り外す。

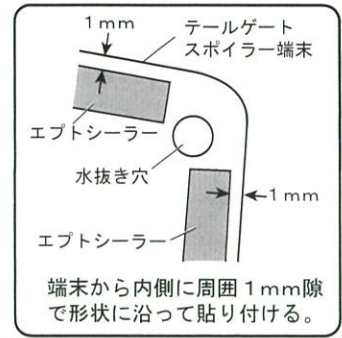
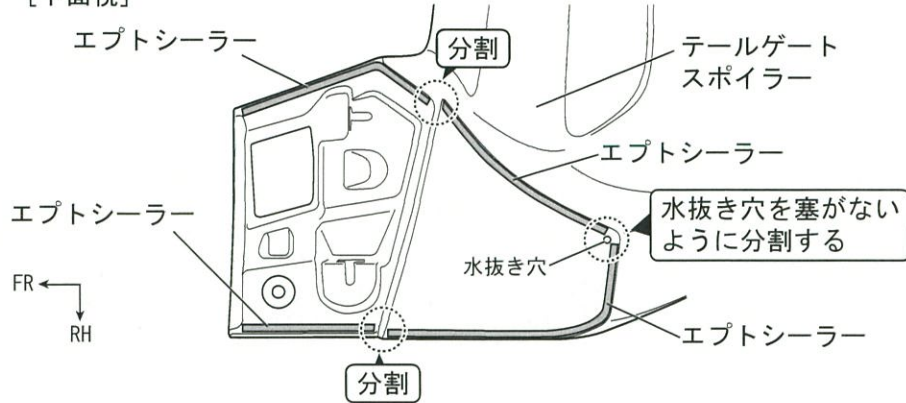


- ④テールゲート スポイラー脚部裏面の下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗淨する。



⑤テールゲート スポイラー脚部裏面の下図位置にエプトシーラーを片側 4ヶ所貼り付ける。

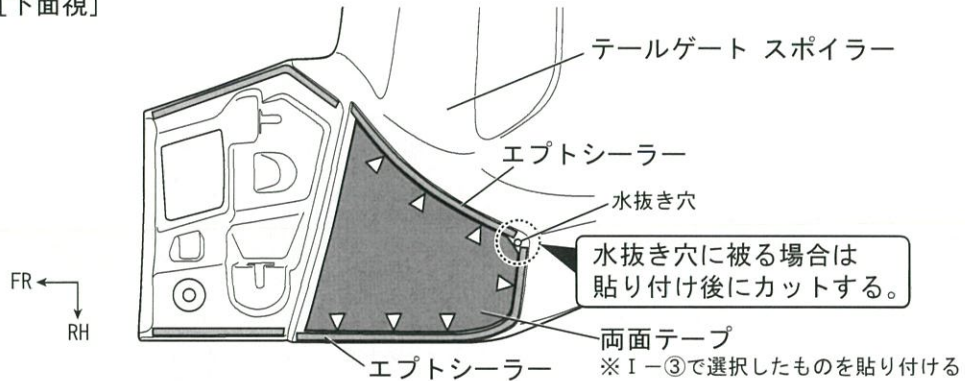
[下面視]



※L側も同様

⑥テールゲート スポイラー脚部裏面の下図位置に両面テープ（I-③で選択したもの）を貼り付ける。

[下面視]

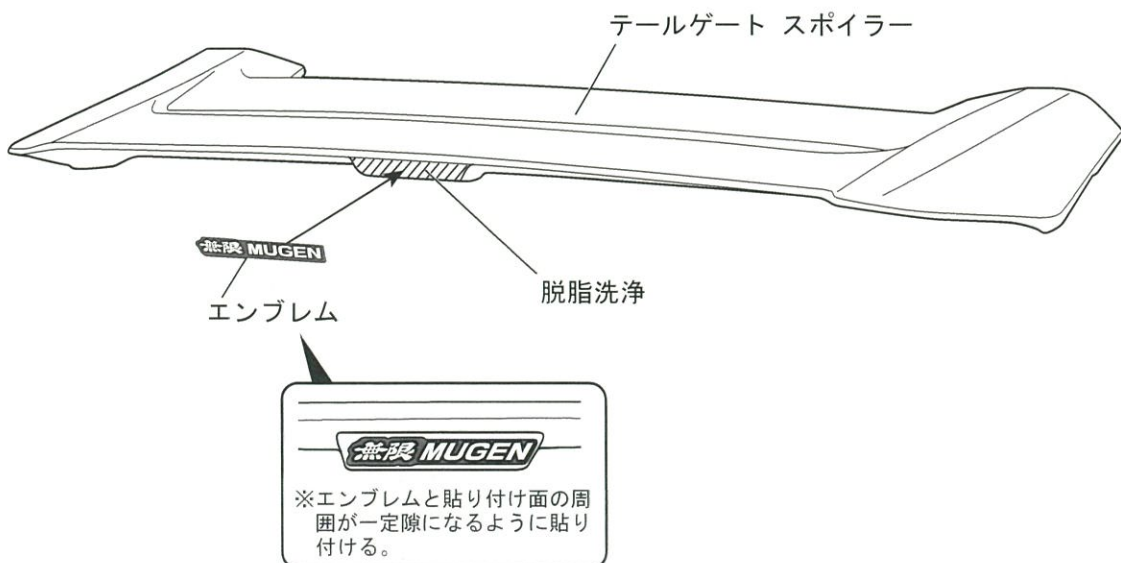


△部：エプトシーラーの内側に合わせて貼り付ける。

注意 紙製離型紙を剥がし、貼り付ける。
離型紙：紙製→製品側 / ビニール製→車体側

※L側も同様

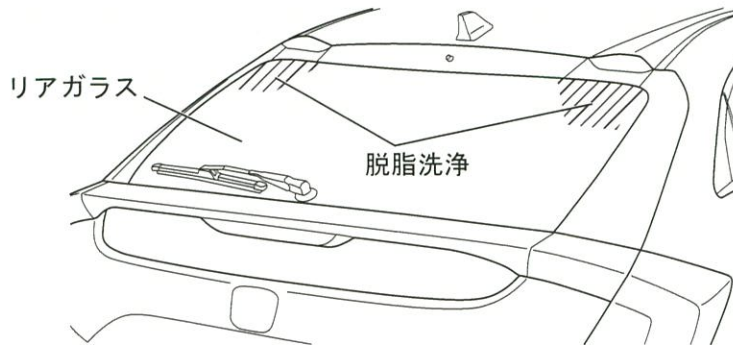
⑦テールゲート スポイラーの下図位置にエンブレムを貼り付ける。
その際に貼り付け面を脱脂洗浄すること。



II. テールゲート スポイラーの取付

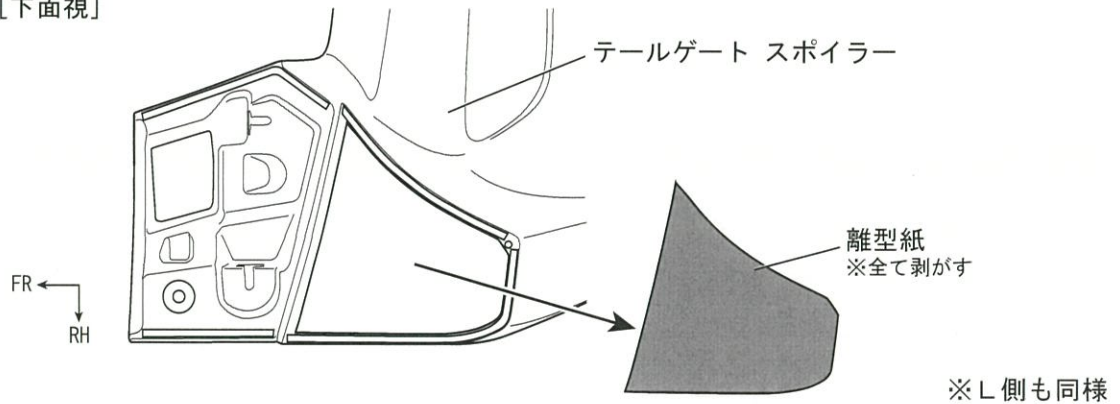
- 《注意》・テールゲート スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・作業は左右同様にを行うこと。
 - ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること。

①車体リアガラス面の下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



②テールゲート スポイラーの両面テープの離型紙全て剥がす。

[下面視]



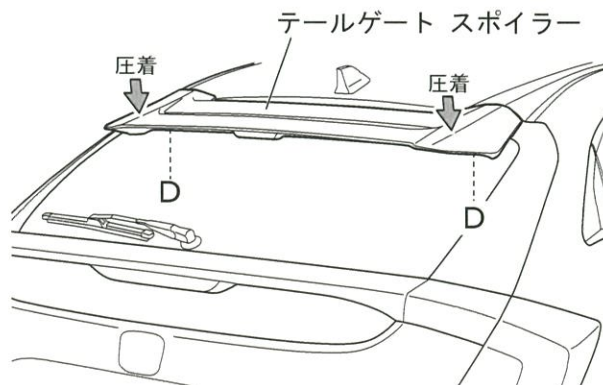
③テールゲート スポイラーを車体に仮あてし、クリップを勘合させる。

テールゲート内側からボルト (D 再利用) で仮止めし、両面テープ貼り付け部を圧着する。

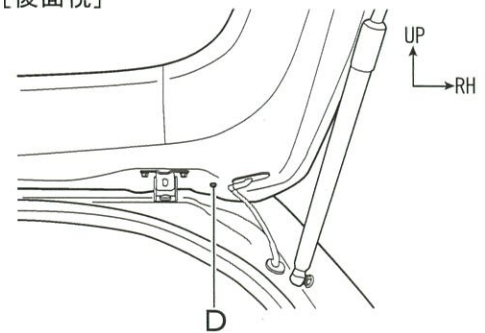
D (2)



ボルト
(再利用)



[後面視]



テールゲートを開け、内側から差し込む

※L側も同様

※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

注意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

④ボルト (D 再利用) を本締めし、取付状態が完全か確認する。